

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり

袋井中央校

令和 5年 11月 30 日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか			○	・児童福祉法に基づき必要な職員数を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・段差などに配慮する面がある。 ・段差には気を付けて支援している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか		○		・職員同士での話し合いや振り返りを行っている。 ・今後も職員間での共有を積極的に行っていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者とは口頭や連絡ノートにて連絡を取り、都度改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後、外部評価をしてもらい、業務改善につなげたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月全体での研修を行い、スペシャルラーニングを使い個々でも研修をしている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・同席者を設け、面談をしている。 ・職員間で共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・行動と学習に関する基礎調査票を利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフミーティングで立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節ごとの様々なプログラムを準備している。 ・利用児の特性に配慮し、活動が固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・スタッフミーティングにて話し合いをし、支援内容を決定している。 ・楽しめるようプログラムを組んでいる。 ・長期休暇では事前に活動を計画し、午前午後でプログラムを分けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の特性やその日の利用人数の状況に応じて、スタッフミーティングにより決定している。 ・利用児の特性に合わせて計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼、昼礼を行い、確認をしている ・事前に確認し、職員間の共通理解に努めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・ケース記録の記入時など、個人の様子を職員同士で話し合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ケース記録を記入し、各職員と情報共有をしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・定期的実施していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個々の状況に合わせた発達支援を行い、健全な育成を行えるよう、支援している。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が出席をし、情報の共有を図っている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時、担当職員と情報交換を行っている。 ・学校と連携をし、必要に応じて情報をいただいている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			・親御さんから連絡をいただいている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			・卒業した利用児がいない為、未実施だが、今後卒業した場合は提供予定。 ・該当者なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			・研修には積極的に参加している。 ・今後も連携を深めていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・交流はないが、公園・イベント・見学行事等で関わりを持つ機会がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			・管理者不在のため参加できていない。 ・法人としては参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・保護者アンケート、モニタリング、相談支援等で利用児の成長及び課題を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			管理者不在のため、支援はできていないが、保護者との話す機会は多く作っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				・契約時に重要事項説明書の説明を必ず行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				・連絡ノートを活用し、気軽に相談できるようにしている。 ・随時、電話対応やお迎え時に保護者からの相談に応じている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		・今後は、保護者会の実施や保護者参加型イベントなどを行い、保護者同士の連携を支援していく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・連絡ノートを活用し、日々の出来事をわかりやすく伝え、安心して利用していただけるよう工夫している。 ・職員間の情報共有を確実にしている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				・ひまわり通信を通じ、保護者に明確な情報を伝えることができるよう、工夫している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○				・個人情報の取扱い契約書に署名いただき、同意を得ている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				・連絡ノートの活用。 ・送迎時の情報共有。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常事	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				・随時、伝えている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				・職員には周知しているが、保護者には周知していないため、今後紙面などで伝えていく。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				・市の福祉課と連携をとっている。 ・社内で研修を行っている。

子 等 の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束を行う際の条件を決め、保護者に事前に説明し、了解を得るようにしている。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・医師の指示はないが、保護者の指示で対応している。 ・食物アレルギーの有無を保護者から聞き取り、アセスメントシートに記入している。現在は該当者なし。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・有事の際にはヒヤリハットを速やかに記入できるよう、職員に周知させている。